

## 令和7年度 南砺市立城端中学校卒業証書授与式 式 辞

城南の丘の桜のつぼみもふくらみ始め、春の訪れを感じるこのよき日に、南砺市教育委員の浦井啓子様をはじめ、ご来賓の皆様には、ご多用の中、本校の卒業証書授与式にご臨席を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。先ほど私は、卒業証書を一人ひとりに手渡ししながら、そこに記された生年月日を確認しておりました。この世に生を受けてから、十五年余り。お子さまが生まれたその日、初めてこの手で抱いた感触と感激、小さな手を引きながら歩いた日。初めて学校へ送り出した朝。喜んだ日も、悩んだ日も、きっとたくさんあったことでしょう。そのすべての時間を重ねて、今日という日があります。長い年月、お子様を大切に育ててこられた保護者の皆様に、心より敬意と感謝を申し上げます。また、この三年間、本校の教育活動に温かいご理解とご支援を賜りましたことに、深く御礼申し上げます。

さて、ただ今卒業証書を手にした卒業生の皆さん。ご卒業、本当におめでとう。皆さんが城端中学校で過ごしたこの三年間は、新型コロナウイルスの影響により、それまで停滞していた様々なことが、新しい形で動き出し、学校や、世の中が大きく変化した3年間でした。先日の予餞会で見た1年生の時のスライド。みんなまだ、マスクをしていましたね。

学校行事、部活動、タブレットを利用した学び方。私たちの生活は、大きく姿を変えていきました。困惑したこともあったでしょう。思うようにいかないこともあったでしょう。それでも皆さんは、仲間と力を合わせ、知恵を出し合いながら、その変化を乗り越えてきました。立ち止まるのではなく、前へ進む道を選び続けてきました。

体育大会での全力の競技と応援。合唱コンクールでの、心を一つにした歌声。学習発表会で見せてくれた、豊かな発想と創造力。女子ソフトテニス部は全国大会で五位入賞という素晴らしい結果を残しました。水泳やスキーも全国大会に出場しました。しかし、私の心を動かしたのは、それらのすばらしい結果だけではありません。学校の様々な場所で、一人ひとりが、本気で努力していたこと。仲間と支え合いながら、自分の限界に挑んでいたこと。その姿でした。私はこれまで皆さんに、こう言ってきました。「本気でやらなければ、心は動かない。」皆さんの本気は、多くの人々の心を動かしました。そして何より、皆さん自身の心が大きく動き、大きく成長させてくれました。中でも、私が忘れられないのは、この三学期です。進路という、自分の未来に向き合いながら、考えようとする姿、そして目標達成に向けて努力する姿、迷いながらも不安と闘い、自分の力を信じて挑戦する姿。その姿は、城端中学校の3年生として本当に頼もしく、誇らしいものでした。

さて、そんなみなさんともいよいよお別れです。この学校の卒業する饞に私自身が大好きな三つの言葉を贈ります。

一つ目は、進化論を唱えたチャールズ・ダーウィンの言葉です。「最も強い者が生き残るのではない。最も賢い者が生き残るのでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である。」皆さんは、この三年間で「変化に向き合う経験」をしました。しかし、これからの社会は、さらに大きく、さらに速く変わっていきます。大阪万博で夢のような世界をみてきましたよね？私が中学生のときも修学旅行で万博

に行きました。つくば万博です。四十年たった今、あのとき見た世界以上の世界が広がっています。みなさんが五十歳を過ぎるころには、さらにすごい世界が待っていると思います。いや、待っているではなくて、みなさんが、そんな世界を作り上げるのです。そんな変化にみなさんは、どう対応するのか？自分なりの答えを探し、答えをみつけるのは皆さん自身です。そのとき、どうか変化を恐れなくて立ち向かってください。激動の世の中でも何が大切なのか。自分は何をしたいのか。自分にとって幸せとは何か。その問いを胸に、柔軟に変化できる人になってください。

二つ目は、アニメアンパンマンの主題歌の歌詞の一節です。この作品を生み出した「やなせたかし」さんは、戦争という厳しい時代を生き抜いた人でした。みなさんは、修学旅行での広島平和記念資料館や公園の碑めぐりで戦争の悲惨さを感じてきたと思います。

「やなせたかし」さんは、身近な大切な人をたくさん失った経験や、送り込まれた戦場での生きるか死ぬかの経験からアンパンマンとテーマ曲をつくりました。その歌の冒頭に、こんな言葉があります。

「何のために生まれて、何をして生きるのか。」この言葉は、「やなせたかし」さんの育ての親が、本人に問いかけた言葉です。戦時中に何度も何度も逆境に抗い、くじけそうになったときも、悩んだ時も、平和への想いも、この言葉が支えになっていたようです。「こたえられないなんてそんなのはいやだ！」と力を振り絞って、自分の生きる道を見出した経験を、アンパンマンのマーチに載せて、子どもたちに伝えているのです。皆さんもこれから、悩むこと、迷うことがきっとあります。人生の答えは、すぐに見つかるものではありません。けれど、この問いを持ち続けてください。「何のために生まれ、何をして生きるのか。」その答えを探し続けることこそが、人生なのかもしれません。

三つ目は、「命を大切にする」ということです。皆さんの命は、皆さんだけのものではありません。皆さんを生んでくれたご両親。そのご両親を生んでくれた祖父母。さらにその上の世代から、命はずっとつながっています。十代さかのぼれば、千人以上のご先祖がいます。この直系の先祖の誰か一人でも、不慮の事故や犯罪に巻き込まれたりして命を失うようなことがあれば、今のあなたは、ここには存在していません。みなさんの後ろには、自分の命を大切に生き、人生を全うした、とても多くの方々がおられました。そして、今後もその命は受け継がれていきます。だからこそ、自分の命を大切にしてください。そして、人の命も同じように大切にしてください。どうか私より先に、どうか親より先に、命を失うようなことがないように。安全や健康に注意して生きてください。そして、その大切な命を燃やして生きてください。自分なりでよいのです。悔いのない人生を歩んでください。

「命を大切に」そしてその大切な命を燃やし、自分なりでいいから、悔いのないように生きること。その基本の上に、「何のために生まれて、何をして生きるのか？」を考えぬき、一生かけて答えを探ること。そして、激動の世の中を生き抜くために「強さと、賢さを身につけ、さらに『変化できる人間』」であること。願いを込めてこの3つの言葉を卒業生のみなさんに贈ります。

結びに、私たち教職員、そして、12991名の城端中学校の卒業生を代表し、第七十九回卒業生のみなさんのこれからの<sup>いやさか</sup>の<sup>い</sup>と、さらなる活躍をお祈りして、式辞といたします。

令和八年三月十二日

南砺市立城端中学校 校長 山崎 洋